

**問** 市長は公約で産婦人科の再開を早期に解決するとしているが、具体的なスケジュールは、出産に係る医療体制が後退しないよう、かづの厚生病院の外来診療体制と大館市立総合病院の分娩機能を維持するために全力で取り組む。

**答** などにより整理しており、このうち実施・改善が必要と判断したもののについては、私（市長）から所管の各部署に対応を指示し、中期的な検討が必要な施策については、三湖伝説事業や無形民俗文化財担い手育成事業など、実施計画に位置づけながら取り組んでいる。



**市長の選挙公約について**

**問** 市民から寄せられた意見や要望は、どのように集約・整理され、政策に反映されているのか。

**答** いつでも市長室や地域づくりミーティングのほか、市長への手紙や市民アンケートなど、直接・間接を問わず、あらゆる機会を捉えて市民の声を聞き、市民の声を反映した透明で活力あるまちづくりに取り組んでいる。

また、市民生活に密着し早急に対応する必要があるものについては、おたふくかぜワクチンや带状疱疹ワクチンの接種費用助成などのように、補正予算に計上するなどして対応している。

質問した項目  
■市長の選挙公約について



録画配信はこちらから

戸田 芳孝 議員 (鹿山会)  
質問時間 30分

**問** 非核宣言都市の懸垂幕について、常時掲示と石碑など恒久的な設置をする考えはあるか。年間を通して非核宣言都市の主旨を啓蒙できるように、設置場所を検討しながら懸垂幕の常時掲示を進める。

**答** 度を拡充したとしているが事業の趣旨に変わりはないか。



**敬老期間のわいわいランチについて**

質問した項目  
■非核宣言都市懸垂幕常時掲示について  
■敬老期間のわいわいランチについて

**問** 事業のあり方に不満がある市民もいるが、対策は。

**答** 事業の継続を望む声はあるものの、事業に対する不満等は寄せられていない。

**問** 事業の目的、位置付けは。

**答** わいわいランチは会食を通じて高齢者同士のネットワークや生きがいづくりを促進するための支援事業として実施している。

**問** 敬老事業を地域で開催できるように制

**答** 令和3年度、敬老会の廃止に伴い、自治会独自に敬老会を開催したいとの要望が寄せられたことから、高齢者の交流支援として実施していた会食事業を拡充したもので、事業の趣旨は変わっていない。

**問** この事業は福祉の公平性を保っているか。

**答** 今後、本市の高齢者世帯が増加していく中で、地域での交流や見守りが重要となる。自治会での事業を利用する際は、対象者全員へ声がけいただくようお願いする。



録画配信はこちらから

丸岡 孝文 議員 (無党派)  
質問時間 30分